

タイトル：2025 年度 中東☆イスラーム教育セミナー(第 21 回)

日時：2025 年 9/18(木)～9/21(日)

場所：AA 研 大会議室(303)

鈴木 敬人 (東京外国語大学大学院 世界言語社会専攻)

この度は四日間にわたる 2025 年度中東☆イスラーム教育セミナーに参加させていただきました。誠にありがとうございました。講師の先生方や東京外国語大学アジア・アフリカ文化研究所の先生方、そして本セミナーを運営してくださった皆様に対して、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

これまで本セミナーのように多くの同世代の研究者が一堂に会するといった大規模なセミナーに参加したことのなかった自分にとって、この四日間は非常に刺激的な体験になったと感じています。自分は今回のセミナーを東京外国語大学大学院の夏季休暇期間における集中講座の一環として受講したために発表予定がなかったのですが、若い研究者の方々の発表を聞き、研究に対するモチベーションを向上させることが出来ました。また、皆様の発表内容に関してもセミナーの参加の応募資格であったイスラームもしくは中東に関連する地域研究・歴史学・人類学・政治学・経済学・社会学・国際関係論・移民研究などといった人文・社会科学研究という枠組みにとらわれないものが多くあったため、自分が同じく近代トルコ共和国の文学研究というこの枠組みからややみ出た分野のものであったこともあり、知的好奇心が満たされるものであっただけでなく、講師の先生方による講義も含めて学問の領域を横断した研究についても考える機会となりとても実りのある体験であったと思います。

そして個人的に今回の中東☆イスラーム教育セミナーで最も自分の今後の研究生活に寄与したと思っていることは、中東やイスラームといった同じ領域に関心を持ちながらも実際に注目し行っている研究はとても多様で広範囲にわたる研究者の皆さんに加えて、経験豊かな先生方とも交流を持つことが出来たということです。中でもジャンルは違ったものの自分と同じトルコ共和国の文学について関心を持っている研究者の方と知り合うことが出来たことは自分にとって大きな喜びでした。親睦会では、こうした研究者同士の交流が出来、新たな知識を吸収するだけでなく、他の方に自分の研究内容や地域研究について話すことが出来たことで自分の中での考えをまとめる良い機会になったと思います。発表の無かった自分にとっては親睦会が良い皆さんとの交流の場となったのでこのような場を設けていただきありがとうございました。

今回の経験を糧に次回の中東☆イスラーム研究セミナーでは自分もぜひ発表をしたいと考えておりますのでその際にはご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。